

ツキノワグマによる人身被害防止のために

1 住民への注意喚起

クマが冬眠する時期に入っていますが、目撃情報が引き続き寄せられていることから、今後も注意が必要です。各市町村においては過去最高ペースで捕獲を進めていただいているが、住民一人ひとりにも基本の対策を徹底していただく必要があります。強い注意喚起を行い、具体的な対策の周知をお願いします。

【基本の対策】

- 鈴やラジオ、スマホなどで音を立てて、人の存在をアピールしながら行動する
- クマを目撃した時は、市町村や警察に連絡するとともに、地域で情報共有する
- クマが食べるものを食べられる状態で放置しない（全て収穫する、堅牢な小屋にしまう、確実に埋却・焼却する、落ち穂はすき込むなど）

クマは食べ物があれば冬眠しません

冬眠は、クマが食べ物のない冬を乗り切るための戦略です。特に、山の実りが少ない年は、エネルギー消費を抑えるため、クマは早めに冬眠に入ります。一方で、食べ物がずっと手に入る環境では冬眠せずに活動を続けることができます。クマにきちんと冬眠してもらうために、人の生活圏における食べ物の管理を徹底しましょう。

【管理を徹底するものの例】

- 収穫しないカキなどの果樹
- ソバ・大豆などの農作物（落ち穂を含む）
- 米ぬか、玄米などの食品類（倉庫などに貯蔵しているものを含む）
- コンポスト、廃棄作物などのゴミ類

2 クマによるガラスの破壊・侵入について

全国的に、クマがガラスを割ったり自動ドアから建物内に侵入する事例が発生しています。推測される原因と、被害を防ぐための対策は次のとおりです。

【推測される原因】

- 建物内の食べ物を狙って侵入する。
- ガラスを障害物と認識できず、通り抜けられると思って、または暗がりに入ろうとしてぶつかる。
- ガラスに映った自分の姿を別のクマと勘違いして攻撃する。

【被害を防ぐための対策】

- ガラス戸や窓のすぐ内側に食べ物を置かない。
- 付近でクマが出没している場合は、自動ドアを手動に切り替える。
- ガラスに飛散防止シートなどを貼り、向こう側が見えないようにし、ガラス面への映り込みも抑える。

3 美の国あきたネット「ツキノワグマ情報」を御活用ください

秋田県公式ウェブサイト「美の国あきたネット」には、ツキノワグマに関する情報や注意喚起用のチラシなどを掲載しています。住民への配布や広報に御活用ください。

URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295> (コンテンツ番号 23295)